

国立曽爾青少年自然の家 利用ガイド



Instagram

YouTube

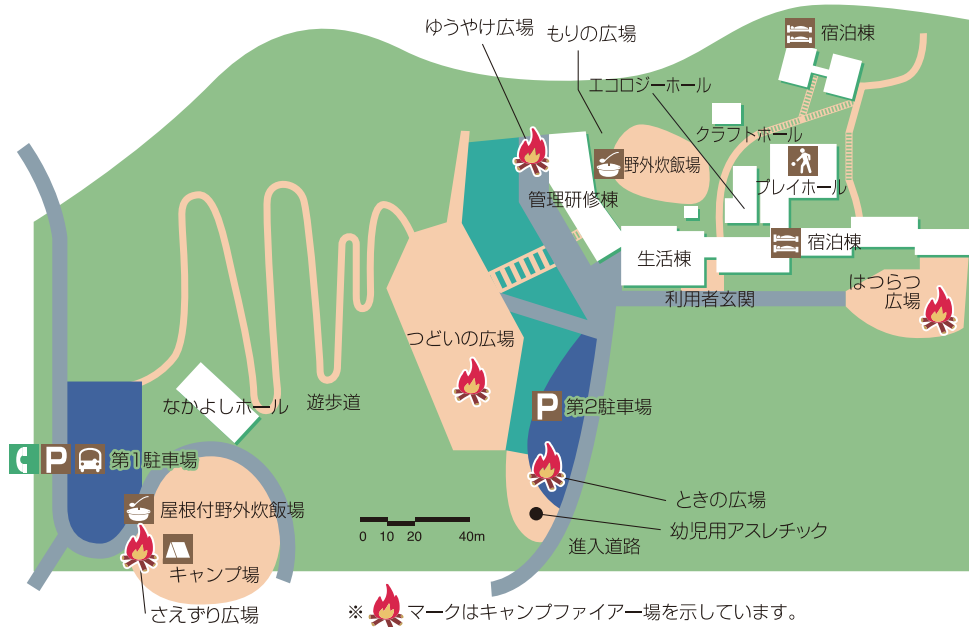


森ごと
まるっと
自然体験

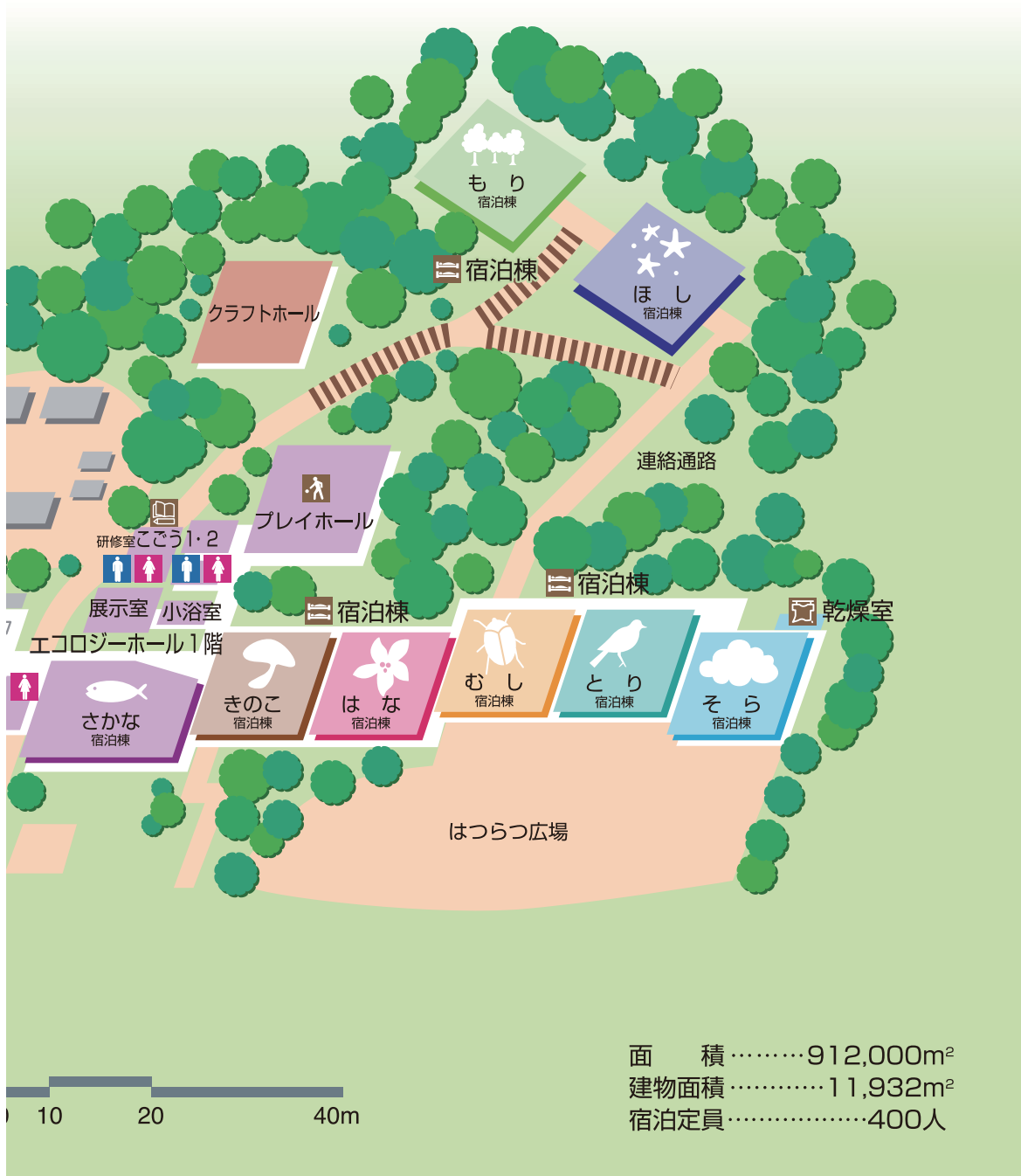


マスコットキャラクター
そにっと[®]

- | | | | |
|--|------|--|---------------|
| | お手洗い | | 食堂(レストラン曾爾高原) |
| | お手洗い | | 売店 |
| | お手洗い | | 浴室 |
| | 電話 | | 宿泊棟 |
| | スロープ | | プレイホール |
| | 研修室 | | リネン室 |
| | 事務室 | | 乾燥室 |
| | 保健室 | | 野外炊飯場 |



※ マークはキャンプファイアール場を示しています。



面積……………912,000m²
 建物面積……………11,932m²
 宿泊定員……………400人

■屋内施設(施設名称及び敷地サイズ・収容人数)

管理研修棟

- 研修室：びょうぶ (17m×8m) / 200人
- かぶと (10m×8m) / 70人
- よろい (10m×8m) / 50人
- かめやま (14m×8m) / 120人
- くろそ (14m×8m) / 120人

生活棟

(食堂 / 268人) (男子浴室 / 60人) (女子浴室 / 60人)

プレイホール (21m × 21m)

- バレーボール1面・卓球台10台・バドミントン2面・
- キャンドルファイアーなど / 400人

クラフトホール (14m × 11m)

(竹細工・創作活動 / 50人、かまど3か所、ピザ窯2基)

なかよしホール (30m × 18m)

- バレーボール1面・卓球台10台・バドミントン2面・
- 音楽会等 / 500人

エコロジーホール (8m × 10m、11m × 10m)

(研修室 / こどう1 / 35人・こどう2 / 35人、展示室 / 40人)

■屋外施設(施設名称及び敷地サイズ・収容人数)

つどいの広場

(入所式・退所式・キャンプファイアーなど / 400人)

はつらつ広場

(キャンプファイアー・その他 / 300人)

野外炊飯場

(かまど / 47か所・内訳：石組み20、屋根付き27)

キャンプ場

(キャンプ場常設テント 8人用 8張 + テントサイト / 90人)
 (屋根付野外炊飯場 / かまど 16か所)

第1駐車場 (バス専用)

(バス / 10台)

第2駐車場

(自動車 / 50台)

そにっこの森 (幼児用アスレチック)

もくじ

I. 国立曽爾青少年自然の家の概要

..... 1

II. 利用について

- [1] 利用できる団体..... 1
- [2] 利用条件..... 2
- [3] 利用できない日..... 2
- [4] 禁止事項..... 2
- [5] 遵守事項..... 2
- [6] 利用申込..... 2
- [7] 利用にかかる費用
およびキャンセル... 3
- [8] 利用日当日までのながれ... 4

III. 事前の準備

- [1] プログラム立案..... 5
- [2] 活動プログラム..... 8
- [3] 食事・物品の注文と
アレルギー対応..... 13
- [4] お支払い..... 15
- [5] 入所前の準備..... 16
- [6] 準備物..... 16

IV. 利用のながれ(入所から退所まで)

..... 17

V. 施設の利用方法

- [1] 施設利用についてのお願い... 19
- [2] 宿泊室の利用..... 19
- [3] 寝具の利用..... 20
- [4] 食堂(レストラン曽爾高原)の利用
..... 21
- [5] 浴室の利用..... 22
- [6] ごみの処理..... 23
- [7] 活動場所の利用..... 23

VI. 健康・安全

- [1] 健康指導..... 26
- [2] 安全指導..... 26
- [3] 緊急連絡..... 27

別表 料金一覧 28

提出書類は、HPの「資料ダウンロード」を
ご覧ください。 

- 【利用申込書・活動計画書】
- 【施設使用料金にかかる一部免除申請書】
- 【食事・物品注文書】
- 【食物アレルギー事前確認票】
- 【利用者名簿・健康調査書】
- 【登山・ハイキング実施届】
- 【川遊び実施届】
- 【事前打合せ連絡票】
- 【入所時確認票】

I. 国立曽爾青少年自然の家の概要

「国立曽爾青少年自然の家」は、奈良県の東北端、三重県との県境にあります。森に囲まれ四季折々に姿を変えるススキの大草原・曽爾高原に位置し、眼前には鎧岳、兜岳、屏風岩の雄大な山並みが広がります。この恵まれた自然環境の中で、自然体験や集団宿泊体験などの様々な体験を通して、次代を担う健やかな身体と豊かな心をもつ青少年の育成を目指して設けられた青少年教育施設です。

【教育目標】

国立曽爾青少年自然の家は、青少年が心身ともに健全に発達成長し、社会の一員として意欲と責任をもって役割を果たせるようにするため、体験活動を中心とした教育活動を展開するとともに、多様な青少年教育指導者を養成して、次に掲げる教育目標を達成することを目指しています。

- (1) 集団宿泊生活等を通して、社会生活のルールを守り、社会の構成員として基礎を培うなど、協調・協働の精神をはぐくむとともに、コミュニケーション能力や他人を思いやる心を養うこと。
- (2) 自然との触れ合いの中での野外活動、環境学習等での感動体験を通して、生命・自然を大切にす態度など、豊かな情操を培うとともに、自ら学ぶ意欲を養うこと。
- (3) 多種多様な活動の研さんを積み、自ら考え、行動する責任ある態度を育てるとともに、ボランティア活動や就労体験等の社会体験を通して、青少年の自立への意欲を養うこと。

重点的な取組

- 挨拶 声をあわせて元気にあいさつ！
- 清掃 “そに”も“こころ”もピカピカに!!
- 約束 全員で守らなあかんことがある！



II. 利用について

[1] 利用できる団体

利用区分	団体	目的
青少年団体	学校等 [小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、短大、大学、専修学校、幼稚園、保育所など]	新入生オリエンテーション 生徒会リーダー研修 自然教室・野外教室 部活動・サークルの合宿 学習活動など
	子どものための体験活動を目的とした団体 [ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会・スポーツ少年団・青少年を含む家族など]	キャンプ スポーツ 文化活動など
	青少年教育指導者等の団体	指導者研修 フォーラム・集会など
一般団体	企業	指導者研修 職員研修など
	その他団体 [青少年を含まない家族・グループなど]	団体の親睦会 自然体験活動など

※ 一般団体の利用者のうち、日本に住所を有しない外国人に関しては、利用申込の際に旅券の写しの提出が必要です。

[2] 利用条件

- 2人以上の団体であること。
- 成人(18歳以上の者。ただし高校に相当する学校に在籍する者を除く。)の引率責任者が定められていること。
- 当所の提供する活動プログラムをもとに具体的な活動計画を設定していること。単に宿泊のみを目的とする利用はできません。なお、学校、青少年団体、一般団体の順に利用が優先されます。

[3] 利用できない日

- 年末年始(12月29日～1月3日)
- 休館日(不定休)
- 施設整備・安全点検の日(原則毎月2日程度)



[4] 禁止事項

- 専ら営利を目的とする活動
- 特定の政党を支持し、又はこれを反対するための政治教育その他の政治的活動
- 特定の宗教を支持し、又はこれを反対するための宗教教育その他の宗教的活動

[5] 遵守事項

- 宿泊室の清掃と原状復帰
- 館内およびフィールド内**全面禁煙**
- 食材の持ち込み禁止(食中毒防止のため。ただし入所日の最初の食事については可。)
- 標準生活時間の遵守
- ペット等の持ち込み禁止
- 花火の禁止及び指定箇所以外での火気厳禁(国定公園内のため)



[6] 利用申込










	申込期間	申込方法
① 宿泊利用		
学校教育団体・10名以上の団体	【先行申込】前年度9月1日～30日	Web・FAX・メール
	【一般申込】前年度12月1日～	Web ※電話で空き状況をご確認ください。
10名未満の団体	利用の1か月前～	
② 日帰り利用		
学校教育団体	前年度12月1日～	Web ※電話で空き状況をご確認ください。
上記以外	利用の1か月前～	
申込締め切り 利用予定日の2週間前		

[7] 利用にかかる費用およびキャンセル

内容		掲載ページ	キャンセル料	問合せ先
施設 使用 料	宿泊利用 (宿泊棟・キャンプ場)	P.28		事務室 TEL 0745-96-2121
	(講師室)※要事前相談	P.30		
	日帰り利用 (研修室) ※令和7年度から設定	P.29		
活動プログラムの指導		P.9(指導内容) P.30(料金)		
食事	P.31	入所の7日目の午前10時以降、発生する場合があります。詳細はP.13をご確認ください。	食堂 TEL 0745-96-2105	
物品	P.32			

- 金額等の詳細については、料金一覧(P.28～)をご確認ください。
- 講師室の使用については、必ず事前にご連絡ください。申込方法等をご案内します。
- 支払い方法については、P.15をご確認ください。「事務室」と「食堂」からそれぞれの請求書を発行します。
- 利用日の2か月前以降に、キャンセルや大幅な利用者減少(概ね3割程度)があった場合は、次回以降のご利用をお断りすることがあります。あらかじめ実際のご利用人数に則した予約をお願いします。なお食事・物品代については、キャンセル料金をいただく場合があります。

[8] 利用当日までのながれ

	利用団体	自然の家
① 利用予約 【詳細:P.2、3】 	お電話にて空き状況をご相談の上、HPからお申込みください。  フォーム  メール	空き状況確認・受付関係書類送付 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 申込内容確認書 ② 事前打合せ連絡票 ③ 駐車許可証 </div>
② 利用承諾	申込書類提出(利用の約2か月前まで) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 利用申込書・活動計画書 ② 事前打合せ連絡票 ③ 施設使用料金に係る一部免除申請書 ※③の提出は利用の3週間前まで </div>  メール FAX 郵送	利用承諾 利用承諾手続き後、正式にお申込み完了です。
③ 事前打合せ 【詳細:P.7】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> 来所または電話にて打合せをします。 </div>	利用の1か月半前から1か月前までに実施します。 打合せ内容 ・施設利用についてのご説明 ・プログラムの詳細相談 ・活動希望場所の確認	打合せ内容を踏まえて調整 ※学校団体、宿泊利用を優先します。
④ 食事・物品の注文 【詳細:P.13、14】 	食事・物品注文書提出(利用の3週間前まで。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 食事・物品注文書 ② 食物アレルギー事前確認票 </div> ※入所日の7日前の10時を過ぎてからのキャンセル・食数変更は、キャンセル料が発生する可能性があります。(P13 参照)	食事・物品の準備 アレルギー対応 
⑤ プログラム調整結果の送付	ご利用2週間前を目途に送付します。 必ずご確認ください。  メール FAX	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 調整後のプログラム・活動場所、宿泊棟、食事・入浴時間 </div>
⑥ 入所 【詳細:P.17】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: fit-content;"> 入所日の朝 全員の健康チェック </div>	事務室窓口へ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 利用者名簿(様式は任意) ② 入所時確認票(HPからダウンロードしてください) </div>  提出	入所手続き 研修室「かめやま」にて行います。 

Ⅲ. 事前の準備

[1] プログラム立案

① 標準生活時間

食事・入浴時間は、各団体の活動等に応じ自然の家が調整します。調整された時間内での利用をお願いします。

夏期 3月1日～ 11月30日			冬期 12月1日～ 2月末日
6:00	起床		6:30
	洗面・掃除		
7:00	朝のつどい ※		7:30
7:30	朝食		8:00
9:00	退所点検(退所日のみ)		9:00
	活動		
12:00～13:30	昼食		12:00～13:30
	活動		
16:05	代表者打合せ会 場所：研修室 かめやま		16:05
16:30	タベのつどい ※		16:30
17:00～19:00	夕食	夕食	17:00～19:00
17:00～20:30	入浴	活動	
	活動		入浴
21:30	就寝準備		21:30
22:00	就寝		22:00



※「朝のつどい」「タベのつどい」への参加は、各団体でご判断ください。(P.18 参照)

② モデルプログラム

1泊2日のモデルプログラム(小学5年生を想定)

目的: 曾爾高原の自然に親しみ、自然(森林)について理解を深める。

グループの仲間と協力するとともに、役割分担や責任を理解する。

1 日 目			午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜の活動	宿泊
	晴天		入所式 フォトテリング	持参	森林環境教育プログラム	食堂	キャンプファイアー ふりかえり	本館
	場所[つどいの広場]		場所[クラフトホール]		場所[はつらつ広場]			
荒天	館内オリエンテリング		//		キャンドルファイアー			
	場所[びょうぶ]		場所[クラフトホール]		場所[びょうぶ]			
2 日 目	朝食		午前の活動	昼食	午後の活動			
	晴天	食堂	野外炊事	野外 炊事	13:00 退所式			
			場所[本館炊飯場]		場所[つどいの広場]			
	荒天		//		//			
	場所[本館炊飯場]		場所[びょうぶ]					

2泊3日のモデルプログラム(中学2年生を想定)

目的: 曾爾高原の自然に親しみ、自然(森林)について学びを深める。子どもたちの自主性・協調性・社会性を育む。

1 日 目			午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜の活動	宿泊
	晴天		入所式 自然散策	持参	森林環境教育プログラム	食堂	ナイトハイク ふりかえり	本館
	場所[お亀池周辺]		場所[クラフトホール]		場所[お亀池周辺]			
荒天	館内オリエンテリング		//		レクリエーション			
	場所[プレイホール]		場所[クラフトホール]		場所[プレイホール]			
2 日 目	朝食		午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜の活動	宿泊
	晴天	食堂	9:00 ハイキング	注文 弁当	15:00 焼き板	食堂	キャンプファイアー ふりかえり	本館
			場所[亀山]		場所[本館炊飯場]		場所[はつらつ広場]	
	荒天		カプラ		//		キャンドルファイアー	
	場所[プレイホール]		場所[本館炊飯場]		場所[プレイホール]			
3 日 目	朝食		午前の活動	昼食	午後の活動			
	晴天	食堂	野外炊事	野外 炊事	13:00 退所式			
			場所[本館炊飯場]		場所[つどいの広場]			
	荒天		//		//			
	場所[本館炊飯場]		場所[プレイホール]					

③ プログラム立案のポイント ◎いつでもご相談ください◎

ねらいを設定した活動を！

利用のねらいを明確にし、ねらいが達成できるような活動・展開を考えましょう。

ゆとりあるプログラムを！

活動の前後はゆとりをもたせ、ふりかえりや語らいの時間が確保できるようにしましょう。

自然に親しもう！

施設的环境を活かして、自然とのふれあいが図れる活動を取り入れましょう。

参加者の主体的な活動を！

参加者の主体性を大切に、企画運営にも参加できる、魅力あるプログラムを作成しましょう。

荒天でも効果的なプログラムを！

荒天時のプログラムを必ず検討し、備えを充分にしてください。また、多少の雨でも屋外での活動が実施できるように装備を整え、自然を満喫できる活動をしましょう。

安心して施設を利用いただくためのご相談を承ります！

ご利用に関して、ご不明な点や不安な点がございましたら、お問い合わせください。十分に話し合っただけで当日を迎えたいと考えています。「どうしたらできるのか」を一緒に考えていきましょう。



④ 事前打合せ

全ての団体は、電話もしくは来所しての打合せが必要です。**当施設をはじめてご利用になる団体は必ず下見を行ってください。**10名以下の団体、家族、遠方の団体(概ね片道2時間以上)は、電話打合せでかまいません。

活動プログラム案を作成し、[活動計画書]をご提出のうえ、利用1か月半から1か月前までに打合せをしてください。

活動のねらいが達成できるように、当所職員が活動計画作成等について助言・協力させていただきます。

⑤ 宿泊場所・食事入浴時間の決定

打合せ後、以下の時期を目安に宿泊場所、食事・入浴時間を調整し、メール・FAX等でお知らせいたします。

宿泊室	利用日の前月10日
活動場所、食事・入浴時間	利用日の2週間前まで



◎:実施届の提出が必要な活動

☆:指導の申込みができる活動

★:指導の申込みが必要な活動

[2] 活動プログラム

① 活動プログラム内容一覧

各活動の詳細はホームページ[活動のご案内][活動プログラム]をご参照ください。実施手順は事前打合せで説明いたします。他の引率者にも共有して事前準備ください。なお、ご利用人数によっては実施していただけないプログラムもありますので、ご了承ください。

【おもな野外活動】	内容	所要時間
ハイキング ◎	目的、活動時間等に対応したコースを設定しています	—
オリエンテーリング	地図上のポイントを探し、得点を競います ※休止中	2~3 時間
ネイチャーエクスプロアリング	カードに示されたコースをたどる自然観察です ※休止中	2~3 時間
フォトテーリング	コース地図の写真の場所を発見し問題に解答していきます	2~3 時間
ディスクゴルフ	ディスクを投げ 18 ホールを回り、得点を競うゲームです	2~3 時間
ナイトハイク	五感を研ぎ澄ませて、夜の自然の姿を体感します	1~2 時間
星座観察 ☆	曾爾高原の広大な星空を観察します	1~2 時間
川遊び ◎★	曾爾川の清流で自然に親しみます(車で移動が必要です)	3~6 時間
野外炊事 ☆	薪をもやして料理をします	3 時間
バームクーヘンづくり	直火で、おいしいバームクーヘンを焼き上げます	3 時間
キャンプファイアー	火を囲み、仲間と歌ったりゲームをしたりして親睦を深めます	1~2 時間
たき火	火を囲み、自分や仲間と向き合う時間を過ごしましょう	1~2 時間
植物観察	お亀池周辺では貴重な植物を見ることができます	—
野鳥観察	フィールドスコープを借りて曾爾高原に来る野鳥を観察しましょう	—
森林環境教育プログラム ★	ESD(持続可能な開発のための教育)の観点から森林の恵みを学びます	3 時間

※野外炊事、バームクーヘンづくりは、12 月から 3 月中旬頃まで実施できません。

【おもな屋内活動】	内容	所要時間
竹細工 ☆	一輪挿しや竹とんぼなどをつくります	3 時間
七宝焼 ★	キーホルダー、アクセサリなどをつくります	2~3 時間
木のスプーン・フォークづくり ☆	木の枝を使って、オリジナルのスプーンやフォークをつくります	2~3 時間
焼き板	杉板を焼き、磨き、ペンで絵を描きます	3 時間
木のコースターづくり	木にペンでイラストを描き、コースターをつくります	2~3 時間
館内オリエンテーリング	館内に設置されたポイントを回りながら問題を解きます	1~2 時間
チャレンジランキング	いろいろな楽しい遊びの記録に挑戦します	2 時間
キャンドルファイアー	ローソクの灯りを囲み、レクリエーションを楽しみます	1~2 時間
うどんづくり	小麦粉(中力粉)からうどんを手づくりします	3~4 時間
ピザづくり	石窯を使って、本格的なピザづくりに挑戦します	3~4 時間
クライム・ウォーク	壁にある石(ホールド)をつかみ、落ちないように横に進みます	2~3 時間
カプラ(木製ブロック)	動物や建物など様々なものが作れ、子どもから大人まで楽しめます	—
ドミノ倒し	達成感や思いやりの心、忍耐力、集中力を育みます	—
そにっとビンゴ	問題カードの写真を手掛かりに、クイズに答えながら館内を回ります	1~2 時間
スポーツ	つなひき、大縄跳び、卓球、ミニバスケットボール、バレーボール、フットサルなど	—

※うどんづくり、ピザづくりは、12 月から 3 月中旬頃まで実施できません。

② 指導の申込み 指導要請希望は[活動計画書]に記載してください。【料金については P.30 に掲載】

- 指導員の都合等によっては、ご希望に添えない場合があります。
また、時間変更については事前にご相談ください。
- 10 人以下の団体には、原則指導を実施していません。
- 当日、活動プログラムの開始までに指導員との打合せが必要です。

☆:指導の申込みができる活動
★:指導の申込みが必要な活動

活動プログラム	時 間	要請人数の目安等
七宝焼 ★	午前 9:30~11:00	対象:小学校5年生以上推奨 最大人数:20 名程度まで 指導員人数:参加者 ~10 名 : 指導員 1~2 名 参加者 ~20 名 : 指導員 2~3 名 指導内容:導入から活動中まで研修指導員が対応します。
竹細工 ☆	午後 13:00~15:30	対象:小学校5年生以上推奨 最大人数:100 名程度まで 指導員人数:1 クラス(30 名程度)につき指導員 1 名 指導内容:導入から活動中まで研修指導員が対応します。
星の話(星座観察) ★	19:00~21:00	対象:小学校5年生以上推奨 最大人数: 50 名程度まで 指導員人数:1 名 指導内容:導入から活動中まで研修指導員が対応します。 ※雨天時は室内で星の話をしします。
森林環境教育 プログラム ★	午前 9:30~ 午後 13:00~	対象:小学校5年生以上 最大人数:80 名程度まで 指導員人数:最大 2 名 指導内容:職員が指導しますが、団体引率者も活動時のサポートをお願いします。約2~3時間程度。

(次のページに続きます。)

活動プログラム	時 間	要請人数の目安等
川遊び ★	午前 9:30～ 午後 13:00～	対象:小学校4年生以上 最大人数:40名程度まで 指導員人数:1名 指導内容:職員が用具の貸出と安全に関する注意事項の説明を行います(約30分程度)。 <u>現地での指導は行いません</u> 。活動終了時には、物品の返却・片付けまで一緒に行います。
野外炊事 ☆	昼食 9:30～ 夕食 13:00～	対象:小学校4年生以上 最大人数:320名程度まで(活動場所による) 指導員人数:1～2名 指導内容:職員が炊飯場で全体説明(用具使用方法、安全面)と、火起こしの指導を行います。約1時間程度。
木のスプーン ・フォークづくり ☆	午前 9:30～ 午後 13:00～	対象:小学校4年生以上 最大人数:50名程度まで(活動場所による) 指導員人数:1～2名 指導内容:職員が指導しますが、団体引率者も活動時のサポートをお願いします。約2時間程度。

③ 活動上の注意

特に実施団体の多い「ハイキング」および「野外炊事」について、以下にまとめました。
他の活動については、ホームページをご確認ください。

(1)ハイキング

入所前の準備

- 必ず下見を行ってください。
- 活動中の隊列を考えましょう。一般的に、責任者が最後尾、副責任者が先頭を担当します。

活動前

- 事務室に[ハイキング実施届](HP 参照)を提出してください。無線機を貸し出します。
- コース上にトイレはありません。出発前に必ずトイレに行くように指導をお願いします。
- 荒天が予想される場合には、安全基準に則り自然の家側で中止を提案させていただくことがあります。

活動時

- 必ず途中で人数確認を行ってください。
- けがや病気など急な対応があった場合は、すぐに事務室へご連絡をお願いします。

終了後

- 到着し、全員の無事を確認したら、事務室へ報告をお願いします。

(2)野外炊事

入所前の準備

- 食事・物品注文書で、野外炊事メニューと薪を注文してください(P.32)。薪は持ち込みも可能です。
- 新聞紙、マッチ・ライター、スポンジ、たわし、ふきんを団体でご準備ください(野外炊事消耗品セットのご注文も可能です)。洗剤は、当所が用意した環境に負荷のかからないものをお使いください。

【動画】野外炊事場利用について
左:炊事場と道具の説明
右:片付けと点検



活動前

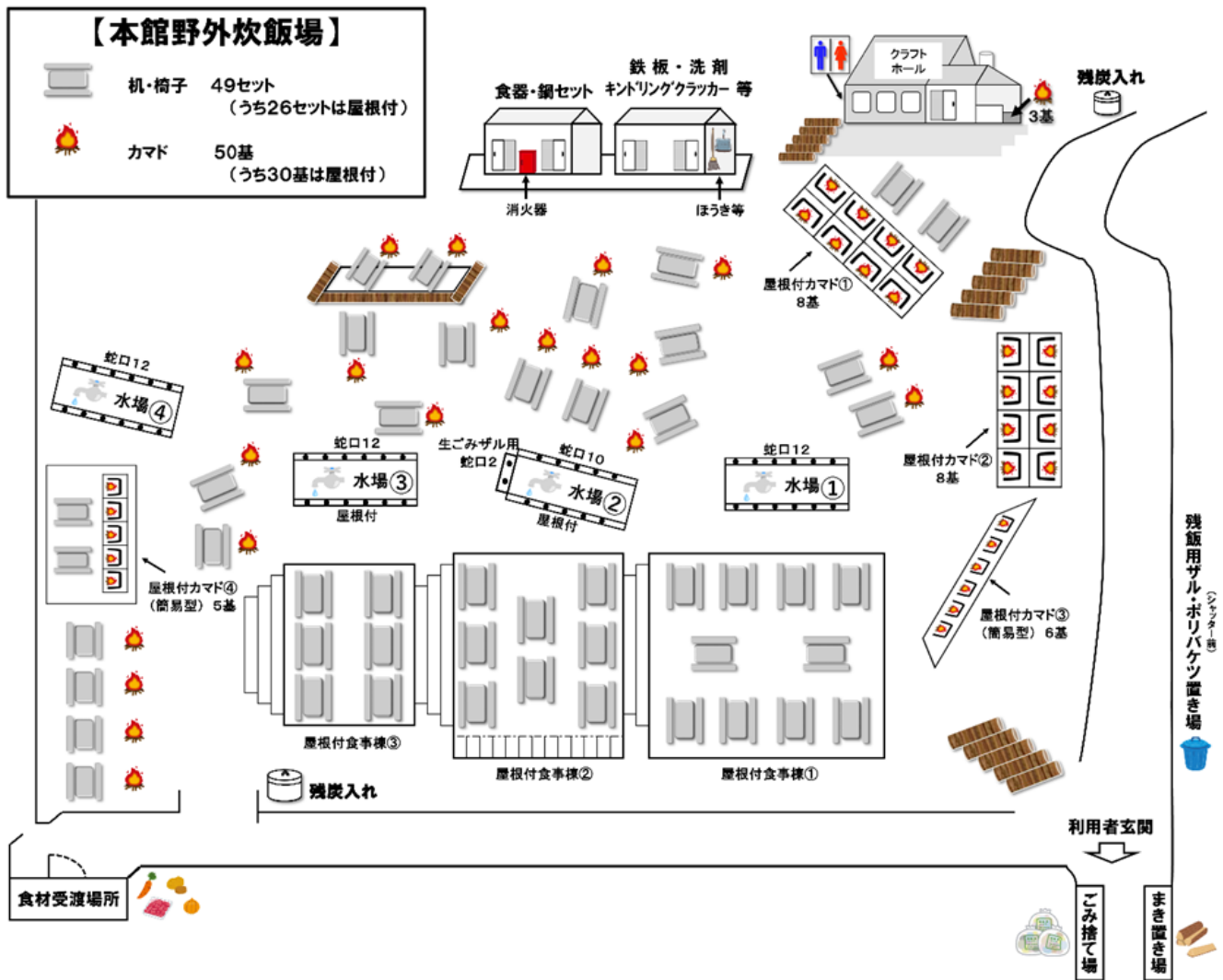
- 原則、当日は団体の指導者の方に指導していただきます。入所後、職員との打合せを実施してください。炊飯場の利用については、動画で確認もできます。なお、職員との打合せをする時間を確保するために、入所後すぐの野外炊事実施は、原則お断りしております。
- 食材の受け取り時刻について、食堂と確認をお願いします。
- 薪は利用者玄関横の薪置き場にありますが、団体名を確認してお受け取りください。
- 実施前に事務室へお越しください。無線機と炊事倉庫の鍵をお渡します。

活動時

- 貸出物品の数を確認してから**調理を開始してください。
- 安全管理を十分に行って実施してください。野外炊事で多いけがは、刃物による切り傷、やけどです。
- 食材に触れるとき、調理するとき、配膳するときは、必ず手を洗ってください。

終了後

- 職員の点検を受ける前に、団体側での最終点検を行ってください。食器かごに入っているシートで数を確認し、ぬるぬるしていないか、手にススがつかないか等洗いの仕上がりをご確認ください。また、ご持参のふきんで水気をしっかりふき取ってください。
- 食器セット・鍋セットは、職員の点検を受けてから倉庫に片付けてください。
- かまどが割れてしまいますので、かまどには水をかけないでください。
- 薪は燃やしきってください。灰は、炊飯場の残炭用ドラム缶に入れてください。
- 燃えるごみは食材と一緒にいる指定のごみ袋に入れて、利用者玄関横のごみ捨て場へお持ちください。水気の多いゴミは、ザルに入れてよく水気を切り、指定の燃えるごみ袋に入れてください。



※「屋根付野外炊飯場」の地図については、P.25 に掲載しています。

[3] 食事・物品の注文とアレルギー対応

① 食事・物品の注文

[活動計画書]に食事形式を記入し、ご提出ください。利用日の 3 週間前までに、[食事・物品注文書]を FAX またはメールでお送りいただき、確定してください。

薪など未使用の場合、返品精算することが可能です。ただし、食材・灯油は返品できません。

「荒天時のみ使用」の物品注文も可能です。その際は、必ず注文書にご記入ください。

② 変更・キャンセル等について

変更・キャンセルをする場合は、再度食事・物品注文書をご提出ください。全員分の食事・物品をキャンセルする場合は、1週間前(入所日の 7 日前)の 10:00 までをお願いいたします。この期限を過ぎた場合は、キャンセル料を徴収させていただきます。日程変更や日程短縮(例:1泊2日→日帰り)に伴う注文のキャンセルについても対象となりますので、ご了承ください。

入所当日の変更については、事務室まで電話(0745-96-2121)でご連絡ください。

食数の変更期限	
お弁当・野外炊事・その他食品	1 週間前(入所日の 7 日前)の 10:00 まで 食数に関わらず変更可能
食堂食	1日目 昼食・夕食 当日 10:00 まで 2日目以降 1 食前 開始時まで 朝食の場合 前日 17:00 まで 昼食の場合 当日 7:30(冬期 8:00)まで 夕食の場合 当日 12:00 まで
各食事5食まで変更可能 <small>※入所日の7日前10:00の食数を基準とします。 ※これ以上の追加は、相談となります。 これ以上の削減は、超過分のキャンセル料を請求いたします。</small>	

キャンセル期限	
お弁当・野外炊事・その他食品	1 週間前(入所日の 7 日前)の 10:00 まで
食堂食	

キャンセル料	
お弁当・野外炊事・その他食品	料金の全額の 100%
食堂食	料金の全額の 30%

食事の種類の変更	
食堂食⇔野外炊事、食堂食⇔弁当、野外炊事⇔弁当など	3 週間前まで



③ 食物アレルギーについて

3週間前までに必ず食堂(☎0745-96-2105)へご相談ください。直前の対応はできません。ご相談の前に、[食物アレルギー事前確認票]のご提出をお願いいたします。食堂メニューとアレルギー表は HP に掲載しております。

④ 売店営業時間

3月～11月(夏期)	
朝	7:30～10:00
昼	11:30～14:30
夜	17:00～19:30

12月～2月(冬期)	
朝	7:30～9:30
昼	11:30～13:30
夜	17:00～19:00

⑤ 野外炊事について

- 準備物について、P.11～12 または HP の活動一覧をご確認ください。
- 材料は8人分セットの組み合わせ、または、食数一括でご注文ください。
※ただし端数調整用として、4人分セット×1 の注文は可能です。
- 一括注文は、カレーを除き4人以上からとなります。
- 薪は食事・物品注文書にて別途注文してください。1カマドに 1.5 束が目安です。
- 食材セットにお茶は含まれておりません。食堂の給茶コーナーを利用するなど、団体でご準備ください。食堂からお茶を持ち出す場合は、事務室でやかんを貸し出します。

野外炊事メニュー

基本セット8人分

令和7年2月1日 改訂

*** ビーフカレー ***			*** 焼きそば ***			*** ちゃんこ鍋 ***		
食 材	※1人前	8人前	食 材	※1人前	8人前	食 材	※1人前	8人前
	550円	4,400円		530円	4,240円		560円	4,480円
米	120g	960g	そば玉	1玉	8玉	うどん玉	1/2玉	4玉
牛肉	60g	480g	豚肉	80g	640g	豚肉	100g	800g
じゃが芋	60g	480g	キャベツ	30g	240g	大根	50g	400g
玉ねぎ	60g	480g	人参	10g	80g	人参	1/8本	1本
人参	30g	240g	玉ねぎ	30g	240g	青ねぎ	1/2本	4本
カレーフレーク	40g	320g	ピーマン	1/4個	2個	しめじ	1/8個	1個
※サラダ油は付きません			ソース	10g	80g	もやし	1/8個	1個
荒天時食堂調理可能			塩・こしょう	少々	少々	豆腐	1/8丁	1丁
			サラダ油	少々	少々	鶏肉団子	2個	16個
						だしの素	3g	24g
						味噌	40g	320g
						塩	少々	少々

調理プログラムメニュー

うどん作り【4人前】		パームクーヘンセット【4人用】		ピザセット【8枚分】		ピザセット【4枚分】	
食 材	580円	食 材	660円	食 材	3,400円	食 材	2,400円
小麦粉	500g	ホットケーキMIX	400g	ピザ生地	4玉	ピザ生地	2玉
長ねぎ	50g	卵	2個	トマトソース	200cc	トマトソース	100cc
塩	20g	牛乳200ml	1本	ピザソース (170g前後の品)	1袋	ピザソース (170g前後の品)	1袋
うどんつゆ(7倍希釈)	50cc	砂糖	30g	小麦粉 (100gの品)	1袋	小麦粉 (100gの品)	1/2袋
		マーガリン	2個	たまねぎ	1個	たまねぎ	1/2個
				ピーマン	2個	ピーマン	1個
				ソーセージ	8本	ソーセージ	4本
				オリーブオイル	48g	オリーブオイル	24g

朝食調理

プログラムメニュー

お弁当メニュー

朝食【カートンドッグ】 1人前		幕の内弁当		おにぎり2個セット		おにぎり3個セット	
食 材	360円	1人前	600円	2個(漬物入)	360円	3個(漬物入)	540円
ドッグ用パン	1個	週替り		週替り		週替り	
ウィンナー	1本						
キャベツ	20g						
個食用ケチャップ	1個						
バナナ	1本						

※牛乳パックとアルミホイルを持参すればカートンドッグができます

[4] お支払い

請求書の分割や支払い方法については、必ず入所前に(学校団体の場合は事務職員等にご)確認願います。

① 請求書発行、受け取りの流れ

入所受付時に請求情報を確認します。食数・宿泊人数を確定し、請求書分割が必要な場合はお知らせください。

【事務室で発行する請求書】

請求内容:施設使用料、講師室使用料、指導費用

退所日当日の午前 10 時以降に事務室でお渡しします。

【動画】料金支払いについて



【売店で発行する請求書】

請求内容:食事代金、売店注文品代金

滞在中に、売店スタッフへお声がけください。内容に間違いがないか、ご確認をお願いします。

② お支払い方法

当日現金でお支払いの場合、支払い場所は食堂入口横の売店です。事前・事後振込の場合は、振込前に必ず食堂へ電話をお願いします。団体名が分かるように振り込んでください。

銀行振込の場合、振込時の受領書が領収書となります。

		事前振込	当日売店支払	事後振込	
支払い方法		銀行振込	現金	銀行振込	コンビニ支払
手数料		利用者負担	—	利用者負担	利用者負担 (140円)
売店で発行する請求書※1	食事代金	○(7割程度) 差額は利用当日に現金でお支払いください。	○	○	×
	売店販売物品代金	×	○	○	×
	施設使用料 講師室使用料 指導費用	×	○	○ ※2	○

※1 銀行振込の手数料は、売店(コンパスグループジャパン株式会社)と自然の家で振込先が異なるため、別々に必要です。

※2 請求書を分割すると請求書ごとに手数料が必要になります。

【事前振込先】 振込前に、必ず食堂(0745-96-2105)までお電話ください。

銀行名	支店名	種別	口座番号	口座名義
三菱 UFJ 銀行 (0005)	わかたけ支店 (809)	普通口座	3063110	コンパスグループジャパン(カ)

[5] 入所前の準備

- 指導者間の連絡・協力体制を作ってください。
- 参加者への事前指導を十分に行いましょう。利用の目的・活動内容と役割分担・生活の心得・組織編成・準備物などを確認してください。
- 施設の利用方法について、
動画(※) (https://www.youtube.com/playlist?list=PLaf4w1gFN9TV5EknTGWJSH_PPyqsZ8mL7) 等
を利用し、事前に参加者へ周知してください。
- 指導者や参加者の代表者による、野外活動の活動場所やコースの下見を必ず行ってください。体験宿泊も可能です。
- 参加者の健康状態を把握しましょう。特に配慮する事項がある参加者については、入所時に連絡してください。
- 車(バス)乗車前までに、体調チェックを済ませてください。体調不良の諸症状の有る方の参加はご遠慮ください。

(※)施設利用方法に関する動画



[6] 準備物

【個人】

上靴、洗面用具、タオル、着替え、ハンカチなど手を拭くもの、
軍手、水筒(耐熱のもの)、雨具(上下に分かれるもの)、常備薬

なまえを忘れずに！



【団体】

利用者名簿(各団体の書式可)、
団体旗(あれば)、校歌 CD(カセットテープ可)、
救急セット、**体温計**、**おう吐処理セット**、清掃用のぞうきん複数枚、
各活動プログラムに必要な物(HP の活動プログラム一覧を必ず確認してください。)

忘れ物は 2 週間程度保管しますが、特に連絡がない場合は期間終了後、処分させていただきます。

IV. 利用のながれ(入所から退所まで)

【入所日】 ※代表者打合せ会の関係上、16:00 までを目安にお越しください。

① 駐車場到着を事務室に連絡

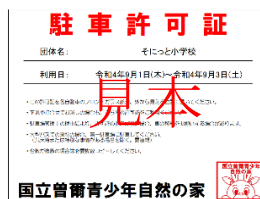
原則、バスは第 1 駐車場、乗用車は第 2 駐車場をご利用ください。

駐車許可証を車外から見える位置に提示してください。

子どもたちの活動に支障をきたしますので、玄関周辺には駐車しないでください。

荷物搬入等のため、駐車場以外の場所へ車を入れる場合は、必ず事務室にご連絡ください。

【注意】入所日に昼食を食堂でとる場合は、12:00 までの入所をお願いいたします。



② 入所式

実施の有無は団体ごとに決定し、実施する際の司会・進行等は各団体で運営してください。

場所: つどいの広場

※荒天時は館内で実施

- ・団体旗の掲揚
- ・ご希望があれば当所職員があいさつに伺います。集合後、事務室へご連絡ください。

③ 入所手続き(15分程度)

9:30~16:00【場所:かめやま】

提出書類等を把握されている主担当者がお越しください。

- ・入所時確認票の記入(食事数・利用者数の確定)
- ・宿泊室、食事・入浴時間、活動内容と場所、貸出用具の確認
- ・[利用者名簿]の提出
- ・[曾爾便利帳][アンケート][宿泊棟<室>鍵]等の受取



【動画】入所手続きについて

入所手続き担当(主担当者)と入所式担当をあらかじめ分担しておくスムーズです。



④ 入館・入室

館内は**土足禁止**です。利用者玄関から入館し、上靴に履きかえてお入りください。

下靴は、宿泊する棟の表示がある靴箱①②のどちらか片方にまとめて入れてください。

前の団体の退所点検終了次第、宿泊室への入室が可能です(午前 10~11 時頃)。

※トイレ、洗面所は、入所後に職員が清掃に入ることがあります。

宿泊棟の窓は、換気のために開いていることがあります。適宜閉めてください。



⑤ 代表者打合せ会(16:05~)15分程度

各団体代表者と当所職員との打合せを研修室「かめやま」で行います。

- ・夕食・入浴時間の再確認
- ・タベのつどい・朝のつどいの役割分担
- ・翌日にかけての活動について確認
- ・荷物置き場の割り振り、退所の案内

⑥ タベのつどい・朝のつどい

(『つどい』への参加は、事前打合せ時にお知らせください。)

当所からの連絡、団体同士の交流を目的に行っています。司会・進行の役割分担は、当日の代表者打合せ会で決めます。

晴天時は「つどいの広場」、雨天時は中止となります。

タベのつどい	朝のつどい
16:30~	夏期(3月~11月)7:00~ 冬期(12月~2月)7:30~
国旗・所旗・団体旗の降納 団体の紹介 その他連絡事項	国旗・所旗・団体旗の掲揚 ラジオ体操第1 その他連絡事項

【退所日】

⑦ 宿泊室の点検・荷物の移動

- ・利用した宿泊室・宿泊棟内廊下の清掃
- ・所定の場所へ荷物の移動
- ・9:00以降、職員による清掃点検の立ち会い・宿泊室の鍵の返却
- ・事務室にて施設使用料にかかる請求書の受け取り
- ・売店にて食事・物品代金にかかる請求書の受け取りおよび料金の精算(売店営業時間:P.14参照)
- ・曾爾便利帳、宿泊棟の鍵、貸出物品等の返却
- ・アンケートの提出



⑧ 退所式

実施の有無は団体ごとに決定し、実施する際の司会・進行等は各団体で運営してください。

場所:つどいの広場 ※荒天時は館内で実施

- ・団体旗の降納
- ・ご希望があれば当所職員があいさつに伺います。集合後、事務室へご連絡ください。

V. 施設の利用方法

[1] 施設利用についてのお願い

- 節電・節水にご協力ください。沢から水を汲み上げているため、使いすぎると水が出なくなる可能性があります。
- みんなで使う施設です。清掃・整理整頓を行い、次の人が気持ちよく使えるようにしましょう。
- 建物や備品を汚損・破損・紛失した場合には、速やかに事務室までご連絡ください。故意または不注意による場合には、実費弁償していただく場合があります。
- 貴重品の管理は各団体で責任をもってお願いします。事務室及び各宿泊棟入口に、リターン式コインロッカーを設置しています。

[2] 宿泊室の利用

① 各棟の宿泊人数

棟名	宿泊室	リーダー室	やすらぎの部屋	最大宿泊人数
 さかな	6人部屋 8室	4人部屋 2室	「やすらぎの部屋」には 寝具を配置していません。 団体に割り当てられた 他の宿泊室から 寝具を移動して 利用することは可能です。	56
 きのこ	8人部屋 6室	// 3室		60
 はな	// 6室	// 1室		52
 むし	// 6室	// 2室		56
 とり	// 6室	// 1室		52
 そら	// 8室	6人部屋 1室		70
 もり	// 6室	4人部屋 1室		52
 ほし	// 6室	// 1室		52

- 害虫発生の原因になるため、宿泊室での飲食はご遠慮ください(お茶・水等の水分補給は可)。
- さかな棟はバリアフリー棟です。
- 各棟・各部屋の鍵を貸し出しできます。
- 各棟のリーダー室に冷蔵庫を配置しています。薬や氷、水分補給用の飲み物の保管にご活用ください。
- 持参のドライヤーをお使いになる時は、各宿泊棟 2 台、掃除機は各階 2 台まで**をお願いします。
- 宿泊室の配置や名称は、HP の「資料ダウンロード」にある【宿泊棟別(部屋別)記入表】にてご覧いただけます。

② 清掃の方法

【宿泊室・廊下・階段】

- 掃除機やほうきで清掃してください。清掃用具が足りない場合は、ご持参のぞうきんで掃除をしてください。
- ベッドの下のごみやほこり、忘れものの確認をお願いします。
- 掃除機のごみパックは職員が交換しますので、取り出さないでください。
- 宿泊室内にごみ箱はございません。各団体でごみの処理をお願いいたします。
- 清掃後は換気のために窓を開けておいてください。

【動画】宿泊棟清掃と退所点検のチェックポイント



[3]寝具の利用

① シーツ

- 衛生管理のため、**必ずお使いください**。同じシーツを連続して使用するのは3泊までとし、4泊以上の場合シーツ交換が必要になります。
- リネン室に団体毎に分けて用意します。各自お取りください。
- シーツとシーツのあいだに入って、身体が寝具に触れない状態で休めます。

② ベッドメイキング

- シーツを敷く
- シーツの上にもう1枚シーツを敷く
- 毛布・掛け布団をのせる
- 上側のシーツの首もとを折り返す
- 枕を枕カバーに入れる ※当所の枕には、そば殻は使用していません。



- 上から
- ①掛け布団
 - ②毛布
 - ③シーツ
 - ④シーツ
 - ⑤ベッドパッド
 - ⑥マットレス
- ここに入ります

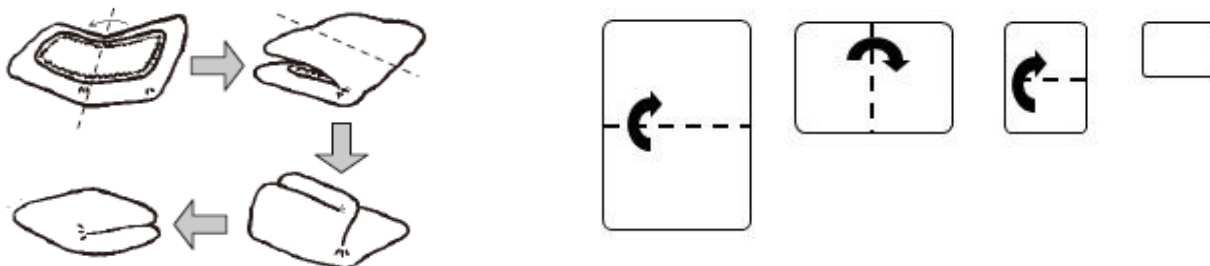
③ 寝具の片付け

【シーツ・枕カバー】

リネン室にある回収袋に返却してください。シーツをたたむ必要はありません。回収袋がいっぱいになったら、口を縛り、新しい袋をセットしてください。

【掛け布団・毛布】

掛け布団は2回、毛布は3回長い方をたたみます。



たたんだ寝具は、次の人が使いやすいように、それぞれ折り目が手前から見えるように置きます。宿泊室内の説明も参考にしてください。



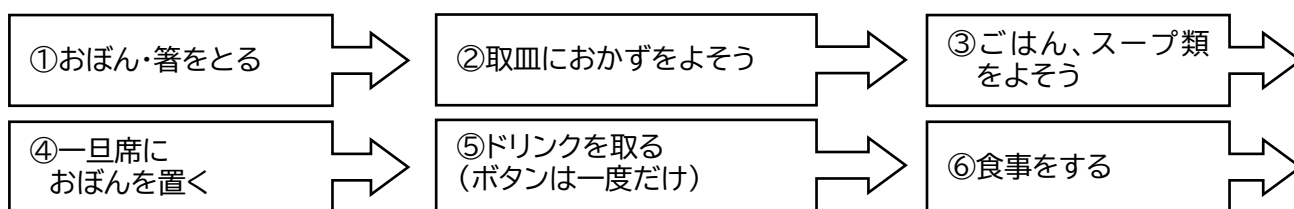
【動画】寝具・リネンの使用 & 整頓方法について



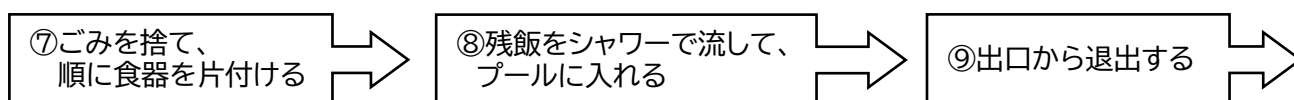
[4] 食堂(レストラン曾爾高原)の利用

- 入り口で手洗いをお願いします。手を拭くためのハンカチやタオルを各自ご持参ください。
- 食事の提供はセルフ形式です。食育を考慮しバランスよく食べましょう。なお、人数が 100 名以下は 1 レーン、30 人以下はカウンター、10 人以下の場合は盛付で提供します。
- 各自で料理をお取りいただくか、引率者等で取り分け担当を決めて盛り付けてください。食べきれぬ量を盛るようにしてください。
- 利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。1団体につき 30 分～45 分程度です。**順次、テーブルごとに食べ始めるようにお願いします。**全員揃ってから食事を開始すると時間がかかり、次に利用する団体が入れなくなります。

<食事配膳の流れ>(右図参照)



<片付け方法>



<注意>

- 荷物は持ち込まないようお願いします。
- すべりやすいので、食堂内は走らないようにしましょう。
- 座席は前方から順にお座りください。
- 混雑防止のため、食後の打合せや連絡等を行わないでください。
- 大きな声での会話・事務連絡等は、お控えください。
- 食べ終わったテーブルから、ごちそうさまをして片付けてください。

【動画】レストランのご利用方法



<給茶コーナーの利用について>

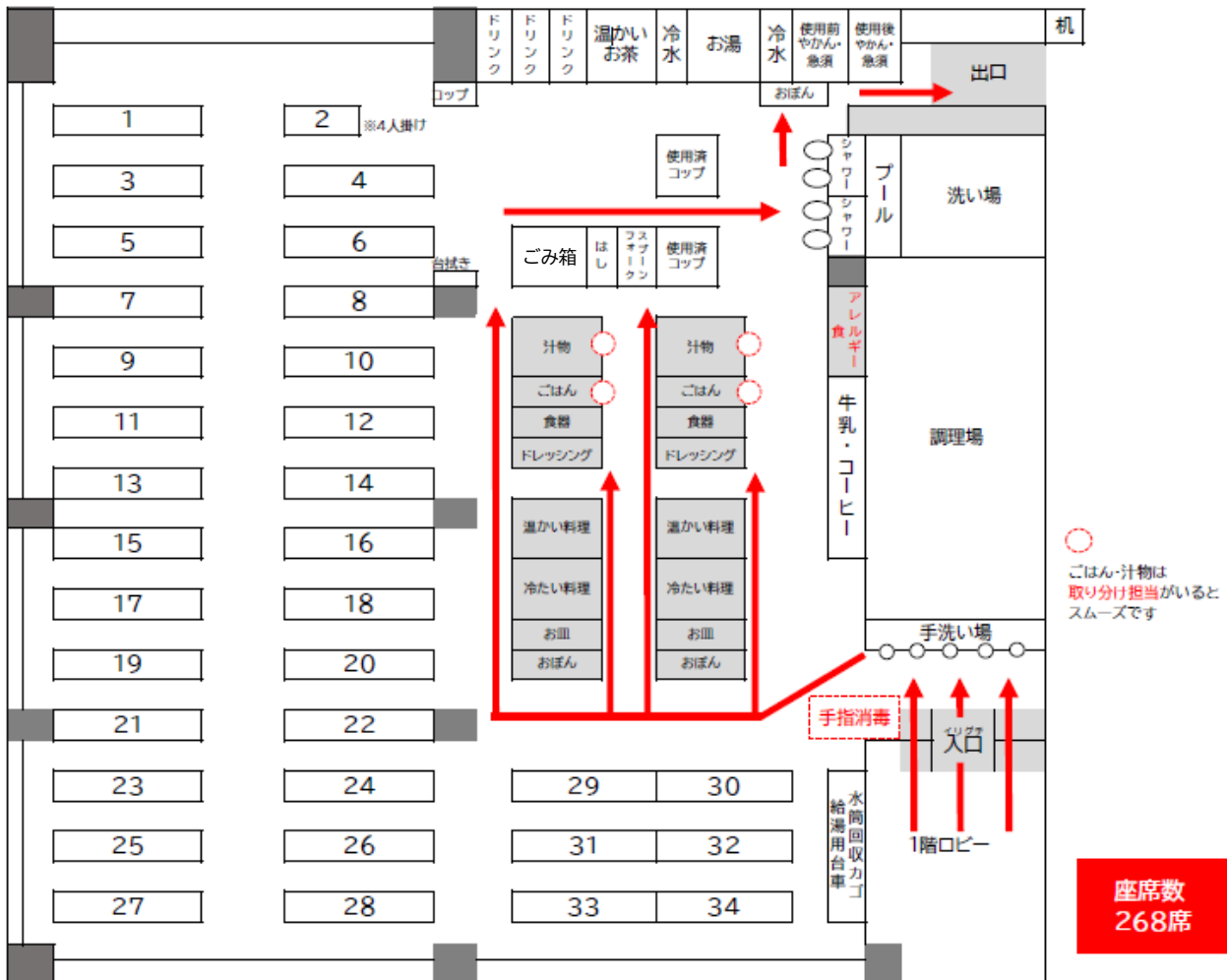
- 熱いお茶の提供です。給茶を希望される場合は、事前に食堂スタッフにお知らせください。
- 衛生管理のため、設置のやかんは食堂外へ持ち出さないでください。持出用のやかんは事務室にあります。
- 引率者が補充する場合は、入口で水筒をまとめ、子どもたちの食事中に補充してください。食堂出口奥の机で受け渡しをしてください。



スムーズな食堂の利用にご協力をお願いいたします。



食堂(レストラン曾爾高原)の見取図



【5】浴室の利用

大浴室は男・女それぞれ一度に 60 名が利用できます。(シャワー数各 10、カラン数各 7)

- **原則、団体ごとに時間を割り振ります。**利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。
- 夏期(3月～11月)のみ、指導者の方向けに 21:30 から 23:00 まで大浴室を開錠します。シャワーのご利用が可能です。日曜日は浴室消毒のため、小浴室等のシャワーを使用いただきます。
- 特別な事情により大浴室が利用できない場合は、小浴室が利用できません(事前打合せでお知らせください)。
- 利用当日の宿泊人数が 50 人以下の場合、男女どちらか片方の大浴室を交代で使用いただきます。宿泊人数が 10 人以下の場合、小浴室での入浴となります。

【動画】お風呂のご利用について



- 洗面用具・タオル・ドライヤー等は置いていません。各自でご用意ください。
- ボディソープ・シャンプーは設置しています。
- 浴室内は濡れてすべりやすいので、転倒に十分注意してください。
- マナーを守って入浴しましょう。

- ・かかり湯をして体を洗ってから浴槽に入る
- ・タオルを浴槽のお湯につけない
- ・使った洗い桶・椅子は整理整頓する
- ・足、身体をよくふいてから脱衣室へ出る



[6] ごみの処理

ごみは原則持ち帰りです。持参した弁当箱など、自然の家でごみを捨てたい場合は、必ず売店で曾爾村指定のごみ袋を購入してください。捨てる際は、ペットボトルをつぶす等出来るだけ小さくしてください。SDGsの観点から、ごみはできる限り減らしましょう。

ごみの種類	袋・容器	回収場所
燃えるごみ (紙くず・プラスチック・トイレの汚物・弁当の空き箱・残飯・ペットボトルなど)	燃えるごみ用の袋	燃えるごみ倉庫
ビン	ビン用ごみ袋	ビン・缶ごみ倉庫
缶	缶用ごみ袋	
段ボール		持込:お持ち帰りください 食堂から受け取ったもの: 食堂に返却してください。

[7] 活動場所の利用

- 各研修室の鍵の貸し出しは事務室までお声がけください。
- 退室時は、備え付けの用具で清掃し、消灯してください。

【くろそ】

- 入室時に上履きを脱いでください。

【エコロジーホール・クラフトホール・なかよしホール】

- ホール内は上履きで活動してください。クラフトホール・なかよしホールへは、上履きを持参してください。
- 施錠してありますので、事前に事務室で鍵を受け取り、開錠してください。退室時は、施錠し、鍵を事務室に返却してください。

【野外炊飯場・屋根付野外炊飯場】

- 指導者は、入所後、事前に使い方の説明を受け、準備・片付けの方法と貸し出し物品を確認してください。

【キャンプファイアー場】

- 各広場に設置されているファイアー台の上、または耐火レンガの上で燃やしてください。
- 薪はすべて燃やしきってください。残炭は、各ファイアー場の残炭入れに集めて入れてください。
- ファイアー台や耐火レンガが割れてしまいますので、水をかけないでください。
- 消火用バケツ、ほうき、ちりとり等は利用者玄関横の清掃用具ロッカーの物をお使いください。
- 清掃は翌朝でもかまいませんが、午前の活動の前(9:00前)までに済ませてください。

(つどいの広場の清掃は、朝のつどいの前(7:00前)までに済ませてください。)

【動画】キャンプファイアー場の利用について



【キャンプ場】

- キャンプ場の利用については、利用団体の自主的な運営を基本としていますので、生活時間や活動内容は団体ごとに決めてください。
- 職員と事前打合せを行ってください。また、キャンプ場施設(水場・かまど・テントサイト・トイレの場所など)の事前調査、実地踏査を行ってください。
- テント・寝袋・炊事道具など毎日使用するものは、滞在中は団体で管理し、退所日に返却してください。
- 施設の全面禁煙は、キャンプ場も含まれます。ご理解ください。
- 貴重品は団体で保管してください。事務室や管理棟のリターン式コインロッカーをご利用いただけます。
- 大浴室の利用も可能です。他団体との利用時間を調整します。

① テント・寝袋の使用について

- 「来た時よりも美しく」を心がけ、万一破損した場合は速やかにご連絡ください。
- テントの周りに溝を掘らないでください。



常設テント(8人用 8張)

- ・テント内は土足・火気厳禁です。
- ・晴天時は入口や窓をあけ、換気してください。

退所時

- ・ほうきで掃除をしてください。
- ・晴天時は居室入口と窓を開けておいてください。

貸出用テント

(貸出を希望される場合は、ご相談ください。)

設営時

- ・必要に応じて、管理棟下の「すのこ」をお使いください。
- ・ペグやハンマーなどの紛失にご留意ください。

撤営時

- ・テント本体・ペグは汚れを落としてください。
- ・撤収前に裏返しておくなどして、できる限り乾かしてからたたんでください。
- ・用具の数量確認を行い、職員の点検を受けてから返却してください。
- ・退所日が雨の場合は、テントの片づけ方について職員の指示に従ってください。

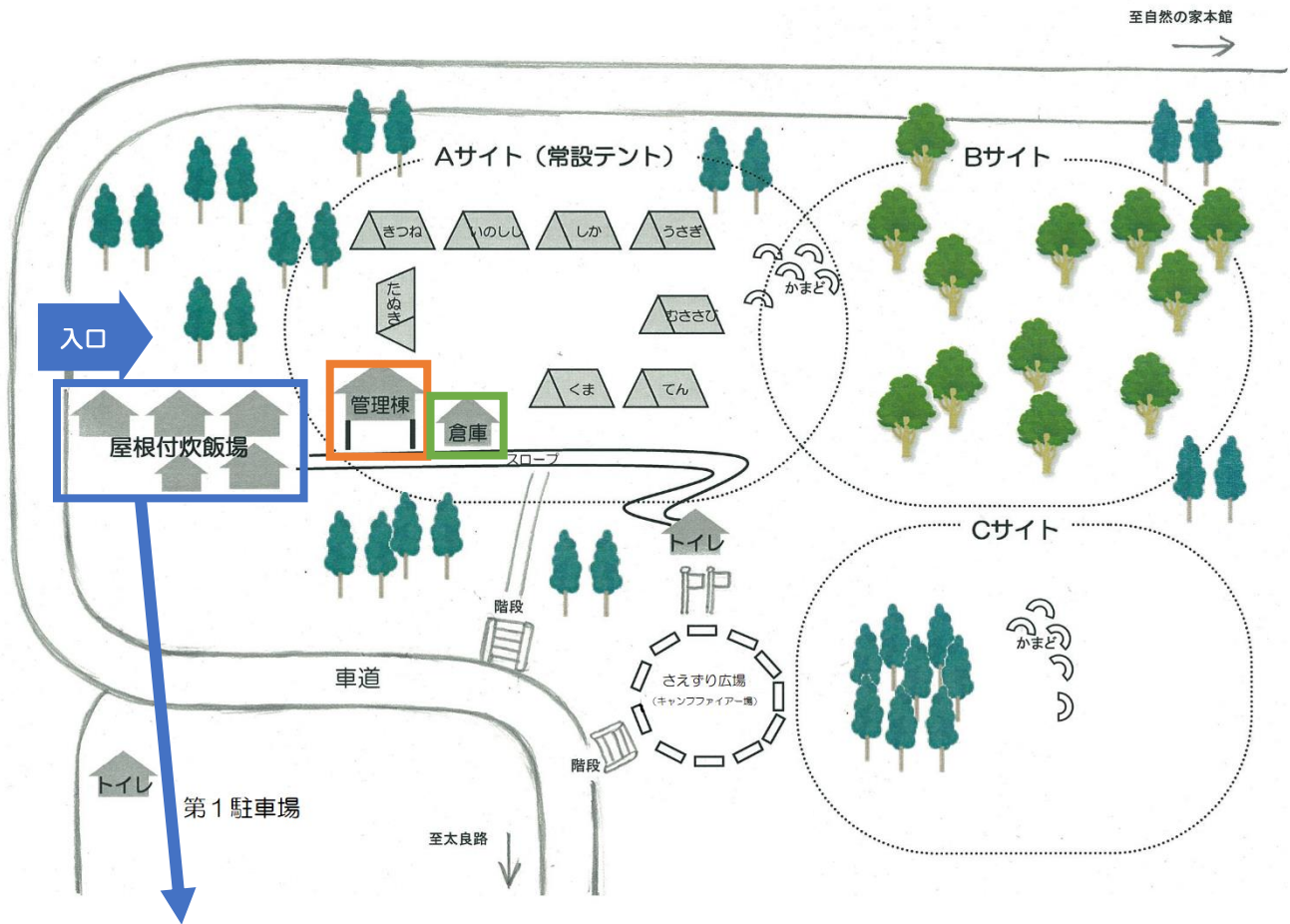
寝袋の貸出

- ・ご希望の場合は、人数分の貸出が可能です。
- ・雨に濡らさないよう注意してください。
- ・寝袋用シーツ(筒形)を使用してください。本館リネン室に用意します。退所日にご返却ください。

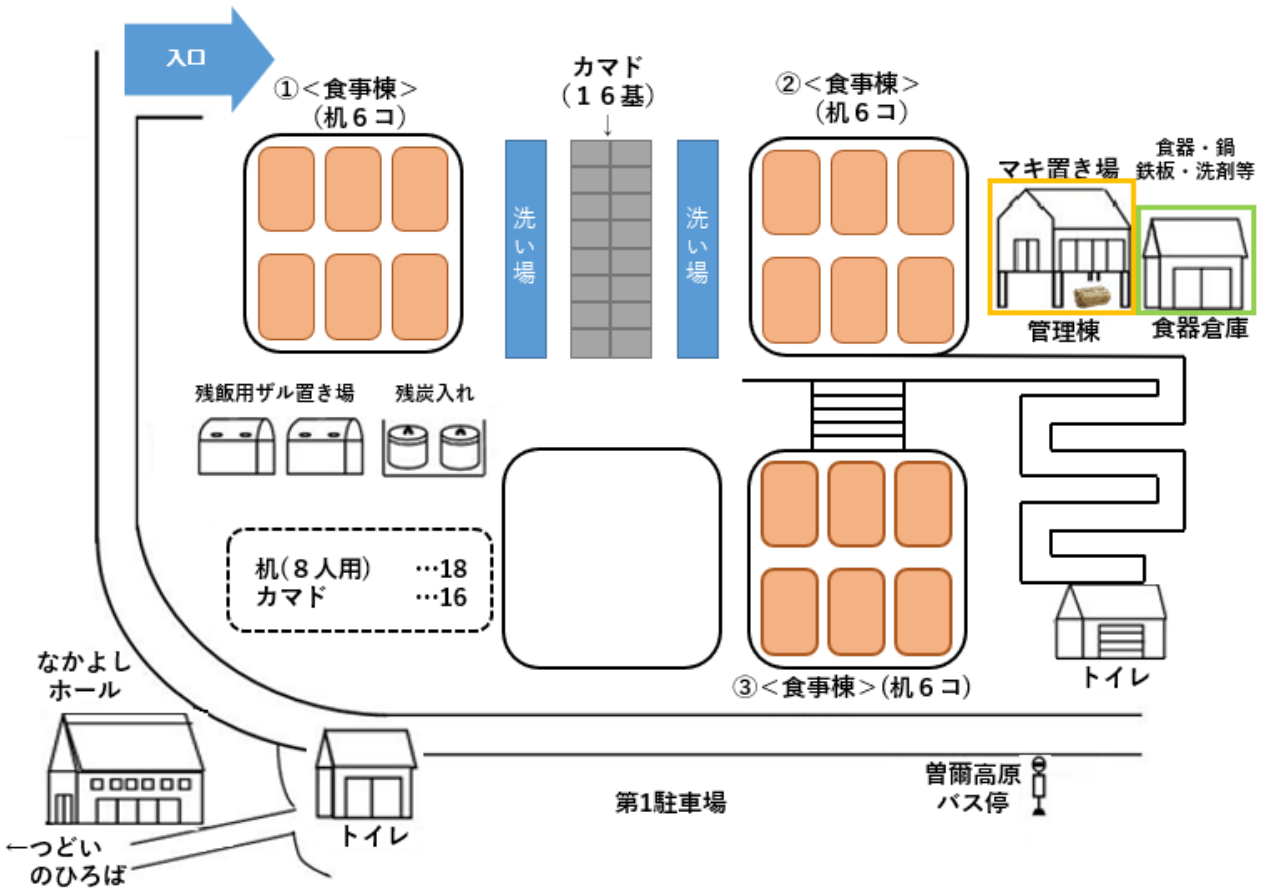
② 炊事について

- 晴雨にかかわらず原則として自炊です。また、食中毒防止のため**食材の持ち込みはご遠慮ください**。
- 野外炊事の食材は所定の場所で受け取ってください。受け取り時間について、当日受付後に食堂と相談してください。朝食:6時30分、昼食:9時30分、夕食:14時には用意ができます。
- **キャンプ場倉庫**内に冷蔵庫(容量 200L)が2台あります。その他必要に応じてクーラーボックスや氷を準備し、食材は団体で責任をもって保管をお願いします。
- 炊事は必ず所定のかまどで行ってください。かまど付近には緊急消火用の水を必ず配置してください。
- かまどやファイアースタove場以外は**火気厳禁**です。なお、花火は禁止しております。
- 食器用洗剤・磨き粉はキャンプ場で用意しています。
- 薪は**キャンプ場管理棟**下にあります。使った分の針金を保管していただき、売店にて精算してください。なお、持ち込みも可能です。

国立曾爾青少年自然の家 キャンプ場配置図



<屋根付野外炊飯場>



VI. 健康・安全

[1] 健康指導

【入所前】

- 事前に参加者の健康調査を行ってください。入所時に体調不良の諸症状が無い方のみ受入れ可能です。
- 持病・車酔い等がある方には、薬を持参するよう事前に指導してください。
- 特別な事情がある場合は、前もってご相談ください。直前の相談では対応できない場合があります。
- 体調不良者が出た場合の帰宅方法について、あらかじめ団体から保護者等に確認をお願いします。**

【滞在中】

- 健康チェックを実施し、参加者の健康状態を確認してください。**体調不良者が出た場合は、事務室にすみやかに連絡してください。**
- 衣類がぬれた場合は、早めに着替えるようにしましょう。
- 十分な睡眠をとるようにしてください。
- 冬場でも水分補給を心がけてください。
- 所内でおう吐した場合、事務室に連絡したうえで、持参したおう吐処理セットを使って、団体で処理をしてください。

[2] 安全指導

【施設内での活動時】

- 各宿泊棟にある案内板で、非常口・避難経路を確認してください。
- 湿気の高い時は床がすべります。館内では走らないようにしましょう。
- 緊急時は内線電話で事務室(37番)にご連絡ください。

【屋外での活動時】

- 自然をあなどらず行動してください。山では天候の急変がよくあります。
- 人数確認を必ず行ってください。単独行動は大変危険ですので、班編成・連絡体制等を十分に検討し、活動してください。
- 看板や標識に注意して、危険な場所には立ち入らないようにしてください。
- 斜面は走らないよう、また落石を起こさないように注意してください。大きな事故につながります。
- 夜間の野外活動は特に慎重に行動してください。暗闇でおどかす等の行為は絶対におやめください。
- 屋外での活動時には、事務室で無線機を借りてください。フィールド内は携帯電話の電波が届きにくい場所があるため、けが人や急病人発生など、緊急時は無線機で自然の家へ連絡をお願いします。

[3] 緊急連絡

緊急事態発生時

- 急病・事故などの発生時には、各団体責任者の判断のもと適切な処置をすると同時に、直ちに事務室へ連絡してください。

事務室への連絡

時間帯	活動時間中(7時～19時)	夜間	
		19時～21時45分	21時45分～翌朝7時
連絡先	職員が対応します。 事務室 内線 37番	警備員が対応します。 事務室 内線 37番	警備員が対応します。 業務当直室 内線 36番 ただし、巡回の時間帯(21時45分～23時、5時～6時)は、携帯電話におかけください。 ※番号は当日お知らせします。

- 医療機関・消防署への連絡は、団体からお願いします。
- 近隣医療機関の連絡先は、ホームページからダウンロードしていただけます。
また、当日にも団体代表者に資料としてお渡しいたします。
- 患者の医療機関への搬送は、団体で行っていただきます。**緊急車両の準備をお願いします。事前に患者の搬送方法について団体でご検討ください。**緊急車両を用意できない場合、タクシーの利用になります。状況によっては、救急車を要請してください。(自然の家までは20～30分程度かかります)



[1] 宿泊利用にかかる施設使用料

宿泊棟泊	
対象	料金
幼児(年少未満) ※幼稚園等の在籍を問わず、当年度 4/2～翌年度 4/1 の間に3歳に到達する者までが対象	無料
幼児(年少～年長) ※幼稚園等の在籍を問わず、当年度 4/2～翌年度 4/1 の間に6歳に到達する者までが対象	1人1泊 300円 (3泊目以降は900円定額)
子供(小学生～高校生) ※高校生とは、高校に相当する学校(専修学校高等課程等を含む)に在籍する者が対象 上記に該当しない場合、当年度 4/2～翌年度 4/1 の間に18歳に到達する者までが対象	1人1泊 600円 (3泊目以降は1,800円定額)
子供(小学生～高校生)のうち、 ◆学校利用における、要保護・準要保護世帯の利用 ◆特別な配慮が必要な子供向けの活動を行う団体における利用 ※別途一部免除申請書の提出が必要です。詳細は自然の家までお問い合わせください。	1人1泊 300円 (3泊目以降は900円定額)
大人(18歳以上)	1人1泊 2,500円
大人(18歳以上)のうち、 ◆大学・短期大学等(大学に相当する学校)に在籍する学生の利用	1人1泊 1,200円 (7泊目以降は7,500円定額)
大人(18歳以上)のうち、 ◆学校利用における、要保護・準要保護世帯の利用 ◆特別な配慮が必要な子供向けの活動を行う団体における利用 ※別途一部免除申請書の提出が必要です。詳細は自然の家までお問い合わせください。	1人1泊 300円
大人(18歳以上)のうち、 ◆長期での団体利用(7泊以上かつ30人以上)	1人1泊 1,200円

キャンプ場泊	
対象	料金
幼児(年少未満)	無料
幼児(年少～年長)、子供(小学生～高校生)	1人1泊 300円
大人(18歳以上)	1人1泊 1,200円
大人(18歳以上)のうち、 ◆大学・短期大学等(大学に相当する学校)に在籍する学生の利用 ◆青少年団体における利用	1人1泊 600円
大人(18歳以上)のうち、 ◆学校利用における、要保護・準要保護世帯の利用 ◆特別な配慮が必要な子供向けの活動を行う団体における利用 ※別途一部免除申請書の提出が必要です。詳細はお問い合わせください。	1人1泊 300円

[2] 日帰り利用にかかる施設使用料(令和7年度から設定)

団体区分(P.1 参照)	料金(1団体あたり)					
	青少年団体			一般団体		
活動場所/時間区分	午前	午後	夜	午前	午後	夜
ホール プレイホール なかよしホール	1,000 円	1,000 円	1,000 円	2,000 円	2,000 円	2,000 円
研修室 くろそ びょうぶ よろい かぶと クラフトホール こごう 1、2・ エコロジーホール	500 円	500 円	500 円	1,000 円	1,000 円	1,000 円

- 時間区分は、午前:9 時~12時、午後:13 時~16時、夜:17 時~20 時 を目安とします。食事時間の設定等の都合により、若干前後する場合があります。
- 時間区分の途中から使う場合、または途中まで使う場合でも、原則上記の料金となります。
- 上記の料金は、いずれも 1 ホール、1 研修室あたりの金額です。
例えば、青少年団体が2つの研修室をご利用いただく場合は、500 円×2=1,000 円となります。
- ご使用いただく人数にかかわらず、上記の料金となります。
- 活動場所は、各団体のご希望にもとづき、自然の家が割り当てます。
- 「こごう 1、2・エコロジーホール」は、併せて 1 研修室として取り扱います。

[3] 指導費用

活動プログラム	料 金	単 位
七宝焼	3,300 円	指導員 1 名あたり
竹細工	3,300 円	
星の話(星座観察)	6,600 円	
森林環境教育プログラム	100 円	参加者 1 名あたり ※引率者は、指導補助をしていただくため、料金は徴収いたしません。
川遊び	50 円	
野外炊事	110 円	
木のスプーン・フォークづくり	130 円	

[4] 講師室使用料金 ※1 名の場合、原則シングルルームのご利用になります。

部屋	料 金(1 人 1 泊あたり)
シングルルーム(3・4号室)	1,630 円
ツインルーム(5・6・7・8号室)	1,220 円
和室(1・2号室、新和室)	810 円

[5] 食事代金

食堂				
区分	朝食	昼食	夕食	3食利用
3歳以下	無料	無料	無料	無料
未就学児(4歳以上)	460円	570円	680円	1,710円
小学生	560円	710円	800円	2,070円
中学生以上	650円	810円	920円	2,380円



お弁当		
メニュー	内容(詳細については食堂にお問い合わせください。)	料金
幕の内弁当	お弁当・割り箸・お手ふき	600円
おにぎり2個セット(漬物入)	おにぎり(月替わり)・漬物・割り箸・お手ふき	360円
おにぎり3個セット(漬物入)	おにぎり(月替わり)・漬物・割り箸・お手ふき	540円

受渡し時間は **12時** となりますので、**当日の昼食分としてのご提供**になります。

お弁当・おにぎりのご注文は上記メニュー**10食以上**から承ります。

(幕の内弁当×5、おにぎりセット×5のような注文は可)

おにぎり 1個単位での注文は承ることができません。

野外炊事		料金
ビーフカレー (※)	8人分セットまたは、 食数一括でご注文ください。ただし、端数調整用として4人分セットを1つ注文することが可能です。また、一括注文はカレーを除き4人以上からになります。 焼きそば及びびちゃんこ鍋には、食数分の割り箸がつきます。	550円/1人分
焼きそば		530円/1人分
ちゃんこ鍋		560円/1人分
調理プログラム		料金
朝食(カートンドッグ)	牛乳パックとアルミホイルは持参ください。	360円/1人分
うどんづくり	【小麦粉 500g・つゆ・ねぎ・食塩】 食数分の割り箸がつきます。カセットコンロのカートリッジは持参または、ご注文ください。	580円 /4人分セット
バームクーヘンづくり	【ホットケーキミックス・卵・牛乳・砂糖・マーガリン】	660円 /4人分セット
ピザづくり	【ピザ生地ボール・トマトソース・ミックスチーズ・ピーマン・たまねぎ・ウインナー・オリーブオイル・小麦粉】	3,400円 /18cm×約8枚分 2,400円 /ハーフセット(約4枚分)

※ビーフカレーのみ、活動を中止判断するほどの荒天時は、食堂が調理を代行できます(150円/1人)。

また、天候にかかわらず、炊飯のみ代行することもできます(80円/1人)。

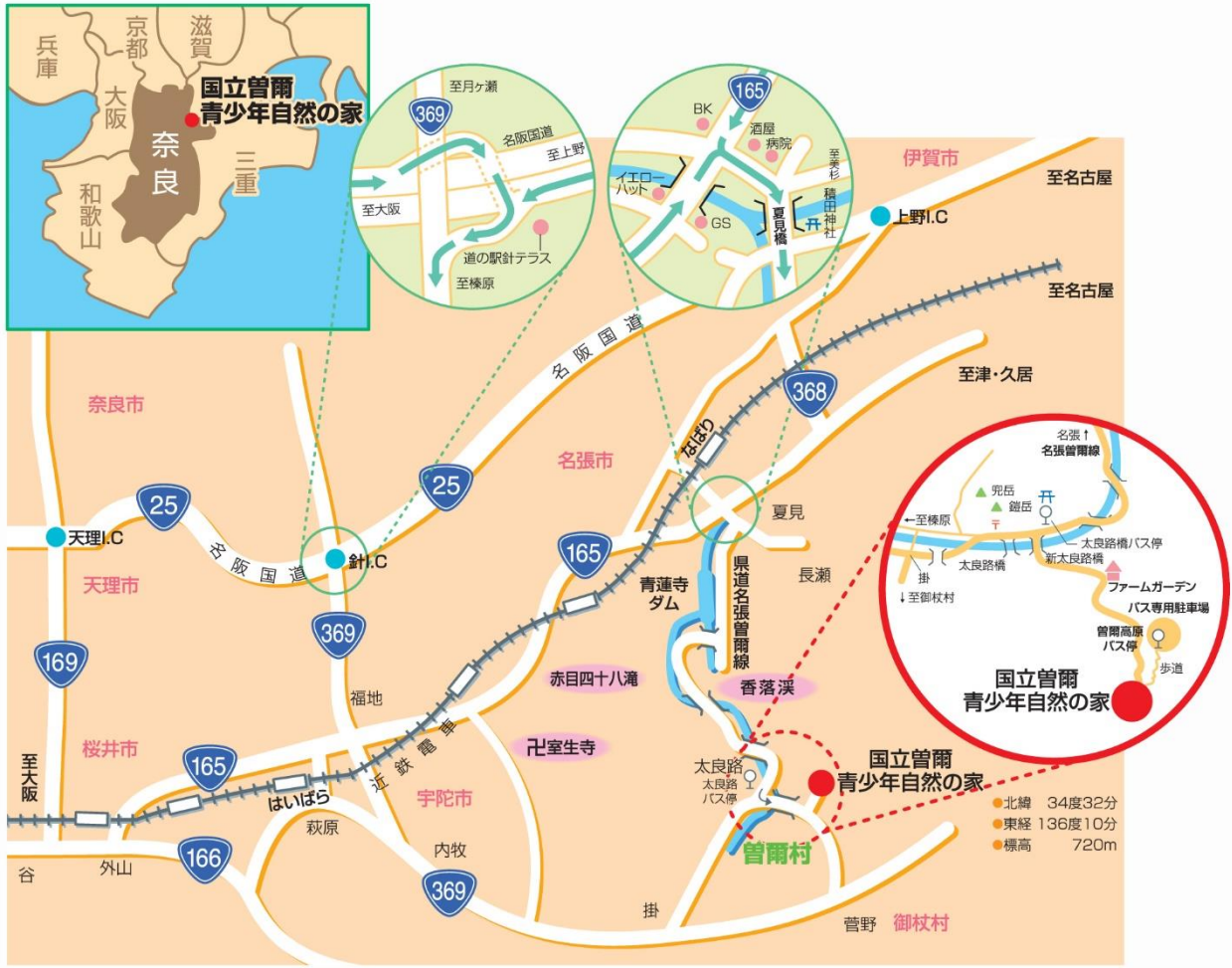
食事・物品注文書の提出前に、必ず食堂までご相談ください(TEL:0745-96-2105)。

[6] 物品代金

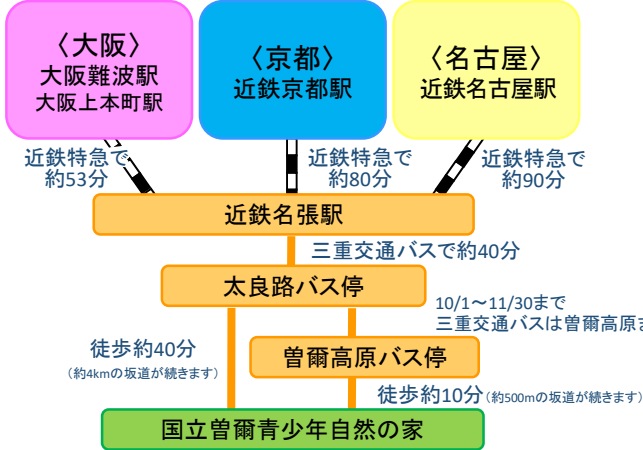
プログラム	品名	料金	備考
キャンプファイアー キャンドルファイアー	キャンプファイアーセット (キャンプファイアー用まき4束、灯油 500 ml)	4,000 円	1~1.5 時間用
	灯油	100 円	500 ml
	トーチ棒	400 円	
	ローソク大	90 円	10 号サイズ キャンドル台には 15 本セットできます
	ローソク小	20 円	1号サイズ アルミホイル付き
※消耗品セットも含めたご購入で 手配でも実施可能となりました。 野外炊事	まき(1 束)	500 円	1カマドで約 1.5 束目安 焼板、ピザ作り、バームクーヘン作り等にも使用
	木っ端(小さな木片)	220 円	3カマドで1束目安、初期の着火用
	ガスボンベ	280 円	うどん作り、焼き板等で使用
	割り箸(1膳)	10 円	ちゃんこ鍋・焼きそば・うどん作りには人数分付属
	消耗品セット (スポンジ 5 個、たわし 1 個、 雑巾(布巾)5 枚、軍手 3 双、 マッチ 1 箱)	720 円	そのほか、適量の古新聞紙もお渡しします
クラフト	品名	料金	備考
竹細工	竹筒(竹細工材料 1 人分)	320 円	一輪挿し1個と竹とんぼ2個分
木のコースター	木のコースター(杉材)	110 円	八角形(対角 10 cm)
	ポスカ(1 本)	330 円	
	ポスカ(8 本セット)	2,640 円	
	サンドペーパー	15 円	粗目1枚 10 cm×10 cm
	カーボンペーパー	110 円	A4 サイズ 1 枚(3~4 人分)イラスト転写用
木のスプーン フォーク	フォーク、スプーン	各 200 円	柄の部分についてはご相談ください
焼板	焼き板素材(杉材)	170 円	12.5cm×23.5cm
	ポスカ(1 本)	330 円	
	ポスカ(8 本セット)	2,640 円	
	まき(1束)	500 円	板を焼く方法に応じてご注文ください。
	ガスボンベ	280 円	また、バーナーヘッドの貸し出しが可能です。

七宝焼	七宝焼素材(ブローチ)	1,600 円	直径 4.2cm
	七宝焼素材 (ペンダントトップ)	1,300 円	直径 3.2cm
	七宝焼素材 (ペンダントチェーン)	800 円	
	七宝焼素材(キーホルダー)	1,400 円	直径 3.2cm

食品・消耗品	品名	料金	備考
冷凍	かき氷(いちご)	160 円	カップ入り
	カップアイス	各 200 円	バニラ、チョコ、抹茶
	氷(ロックアイス)	280 円	1 kg
	氷(プレートアイス)	480 円	1.9 kg
菓子パン	あんぱん、ジャムパン、 クリームパン、メロンパン、	各 210 円	※毎週月曜日の朝食・昼食としての 注文は不可
焼き マシュマロ (スフレ)	マシュマロ	200 円	1袋約 30 個入り
	クラッカー	260 円	1箱 39 枚入り (焼いたマシュマロを挟んでお召し上がりください)
行動食	カロリーメイト	170 円	1箱2本入り
飲み物	パックジュース	各 140 円	紙パック 200ml (アップル、グレープ)
	ミネラルウォーター (500ml)	210 円	ペットボトル 500ml
	爽健美茶	210 円	ペットボトル 600ml
	緑茶	210 円	ペットボトル 525ml
	スポーツドリンク	180 円	ペットボトル 500ml
	ウーロン茶	360 円	ペットボトル2L
	ミネラルウォーター(2L)	260 円	ペットボトル2L
ごみ袋 曾爾村指定	燃えるごみ用(45L)	55 円	自然の家でごみを捨てる場合は必ずご購入ください。 野外炊事の食材セットには、燃えるごみ用袋(30L)が1 枚付いてきます。
	燃えるごみ用(30L)	35 円	
	缶用(45L)	55 円	
	ビン用(45L)	55 円	



● 交通機関での所要時間



● 自動車での距離・所要時間

- 上野インターから(42km) 1時間10分
 - 針インターから(40km) 1時間
 - 天理インターから(57km) 1時間30分
 - 名張夏見交差点から(21km) 40分
 - 榛原萩原交差点から(28km) 50分
 - 太良路バス停から(4.5km) 15分
- ※冬期はタイヤチェーンの準備が必要です。

所章

曾爾の「そ」を図案化し、風と雲と道を表現し、地に緑を取り入れて、大自然を象徴しています。

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立曾爾青少年自然の家
 〒633-1202
 奈良県宇陀郡曾爾村太良路1170
 TEL0745-96-2121 FAX0745-96-2126
 MAIL soni@niye.go.jp
<https://soni.niye.go.jp/>

国立曾爾